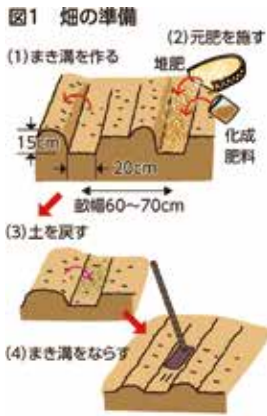


あなたもチャレンジ 家庭菜園



園芸研究家
成松次郎

ナバナ 春に先駆けて季節を味わう



ナバナは童話でも歌われる春の花。種子から菜種油を採取し、つぼみと若い茎葉を食べる野菜です。味に癖がないので、サラダやあえ物、おひたしなどでいただきます。晩夏から初秋に種まきし、年内から早春に収穫します。

【品種】和種と洋種の2種類があり、和種は葉色が黄緑で花茎とつぼみと葉を利用し、洋種は葉色が濃く、主に花茎と葉を食べます。和種には、早生品種に「秋華」(タキイ種苗)、「早陽一号」(サカタのタネ)、「CR京の春」(丸種)、「中晩生品種」に「花飾り」(サカタのタネ)、「CR華の舞」(丸種)などがあります。洋種には、「三重なばな」や「のらぼう菜」

などがあります。

【畑の準備】種まき、または植え付け2週間前に、1平方m当たり苦土石灰100gをまき、深く土を耕しておきます。1週間前に畝幅60〜70cm、幅20cmくらい、深さ15cmくらいの溝を掘り、この溝1m当たり元肥として化成肥料(NPK各成分10%)100g程度と堆肥2kgを施して土を戻し、くわでまき床が平らになるようならします(図1)。

【種まき】じかまきでは、まき溝全体に2、3cmくらいの間隔に種まきします(図2)。覆土後に十分灌水(かんすい)し、べたがけ資材で覆って発芽や幼苗を保護します。なお、苗作りをする場合、9cmポリポットに5、6粒まき、2回に分けて間引きして本葉5、6枚の苗に仕上げ、株間20cm間隔で畑に植えます。

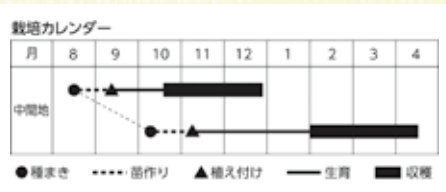
【間引きと追肥、土寄せ】じかまきでは、1回目は本葉2、3枚時に株間5、6cm、2回目は本葉5、6枚時に株間10cmくらいに間引き、さらに本葉10枚時に株間を20cmくらいに

します(図3)。最後の間引き後、畝の長さ1m当たり化成肥料30g程度をまき、軽く耕し、土寄せをしておきます。その後、1カ月に1回の割合で同様に追肥をします(図4)。

【病害虫の防除】生育初期は防虫ネットなどで被覆し、その後アブラムシには粘着くん液剤など、アオムシ、コナガにはアフアーム乳剤などを使って防除します。

【収穫】とう立ち後、和種ではつぼみが膨らんできたら、開花前に先端15〜20cmを収穫します。洋種では本葉15枚くらいで上部を摘み、脇芽を伸ばし、先端を20〜25cmで収穫します。いずれも、各節から多数の脇芽を同様の長さで収穫します(図5)。

※品種は情報提供として記載しておりますので、JAで取り扱っていない品種についてはご了承ください。



JA全農しが長浜農機センター 臨時休業のお知らせ

臨時休業日：8月14日(月)・15日(火)

※祝日および土日を含め、8月11日(金)～15日(火)までを休業日とさせていただきます。

今後とも組合員様にご満足頂けるサービスを提供できるよう努めて参りますので、何卒ご了承くださいませよう、よろしくお願いたします。

JA全農しが長浜農機センター
住所 長浜市小谷丁野町360番地
TEL 0749-78-1008

お急ぎの際の連絡先
JA全農しが 農業機械課
住所 野洲市小篠原大岩山5-2
TEL 077-586-7014

